

令和3年度使用中学校用教科書採択結果及び採択理由

採択地区（ 由布市 地区 ）

種目	採択した発行者	採 択 理 由
国 語	光村図書出版	導入に小学校から親しんでいる詩が導入に使われ、朗読の仕方、辞書の使い方、記録の仕方など中学校1年生の始めの単元取り扱いが丁寧で、スムーズに学習をつなげていけるように配慮されている。各単元の展開がわかりやすく示されており、内容も多様であることから、単元的展開や主体的な学習がしやすいつくりである。単元ごとに「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」の二つの系列の教材があり、主体的に学び、思考を深めるための学習の流れがわかりやすく図で示されている。
書 写	光村図書出版	別冊として活用できる綴じ込みの「書写ブック」では、毛筆学習を生かして硬筆で書く活動ができるよう工夫されている。学習課題を意識させ、振り返りで自己評価できる構成になっており、学習の定着を図る書写テストも「書写ブック」に設定されている。ユニバーサルデザインの観点から、余計な情報を極力省き、どの生徒にとっても混乱が生じにくく、学習内容が分かりやすく学びやすい紙面となっている。
地 図	帝国書院	大分県の地図を例に、地図帳の使い方やテーマを決めた学習の仕方を説明しているのので、より身近で分かりやすいものとなっている。イラスト付きの大きな鳥瞰図により、世界の諸地域のイメージをつかみやすくし、世界地理への興味・関心を高めるようにしている。作業コーナー「地図活用」が多く設けられており、地図を読み取る力を高める学習に有効と考えられる。
地 理	東京書籍	単元全体を貫く「探究課題」と補助発問、1時間の「学習課題」が用意されており、問題解決的な学習を組みやすい構成となっている。各節末に設けられた「みんなでチャレンジ」で、思考ツールを多く活用し、話し合いなどの対話的活動を通して、様々な意見に触れながら学習を深められるよう工夫されている。学習の流れが「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」で構成され、学習のまとめでは、知識や技能だけでなく、思考力・判断力・表現力をつけられるよう工夫されている。
歴 史	東京書籍	章毎、節毎に探究課題が示され、章末には課題に対応したまとめの活動がある。「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、グループで考える学習課題が示されており、対話的な学習ができるよう工夫されている。章末の「まとめの活動」で、単元毎に様々な思考ツールを用いて、時代の特色をまとめることができるようになっている。「見方・考え方」のコーナーで、資料を読み取るための視点が示されるなど、資料の読み取りに工夫が見られ、興味を広げられるようになっている。
公 民	教育出版	章のはじめに「学習の見通し」が明示され、1単位時間の「学習課題」が設定され、章末に章全体のテーマについて考えを深めるページが設定されており、既習内容を活用し理解を「深める」内容になっている。地方自治の課題でも由布市が進める「由布学」の取り組みにより近い内容の学習課題「まちづくりのアイデアを提言しよう」が設定されており、学習を進めることで由布市に関してより深い学びが期待できる。
数 学	日本文教出版	題材ごとに既習内容のふりかえりから取り組むことができ、構成につながりがある。Qで課題を見つけ、めあてでゴールまでの道筋を確認し、例で解決方法を見出し、間で定着する流れになっており、授業を展開しやすい。また、Q→めあて→例→問の流れが、見開き1ページにまとめられているので見やすく、1時間完結型での授業を展開しやすい。「学び合おう」では、生徒同士が話し合っ理解を深めることができる問題解決型の題材が載せられており、思考力・判断力・表現力を育むことができる。
理 科	大日本図書	単元のはじめに学習の見通しを持たせるため、既習事項を的確な写真やイラストで振り返ることができ、今後の学習内容を確認できる。写真や図で課題を把握できるように工夫され、観察・実験には「目的」「着眼点」を明示し、結果から考察へわかりやすく学習を進めることができ、科学的な見方、考え方が深まるように工夫されている。「読解力問題」では学んだことを活用したり、「話し合おう」では自分の考えを表現したりするような深い学びが設定されている。随所に大分の写真資料があり、生徒の興味関心を喚起しやすい。

音楽 (一般)	教育芸術社	学習指導要領の目標を達成できるよう、各教材において何を学習するのかが分かりやすく表示されている。音楽を形づくっている要素がわかりやすく各学年とも1ページにまとめられており (P67, p73, p89)、生徒が考える際に活用しやすいよう工夫されている。「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動となるよう、「深めよう! 音楽」のページが掲載されており、生徒が話し合いながら音楽の特徴や表現について工夫できるようになっている。
音楽 (器楽)	教育芸術社	「中学生の器楽」の学習内容を一覧にして、生徒が身につけるべき学力を具体的に示している。さらに、学びを深めるための曲や活動、学びの手がかりとなるヒントとして、音楽を形づくっている要素が示されている。生徒が基本的な技能を確実に身につけることができるように、楽器ごとに平易な曲からだんだん難易度が上がっていく楽譜の掲載になっている。
美術	日本文教出版	表現と鑑賞の扱う割合がバランスよく構成されており、内容も幅広く偏りが無い。3分冊のテーマが発達段階に応じて設定されており、表現・鑑賞とともに内容が系統的に学習しやすい。また、「造形的な視点」を吹き出しとして取り入れ、生徒に主体的に考えさせるような工夫がされている。図版が大きく、色も鮮やかで見やすい。表紙裏の折り込みの参考作品では、作品の細かい描写までわかるようになっている。
保健体育	大修館書店	各単元のはじめに「課題をつかむ」があり、生徒の経験や身近な内容に関わる「発問」が示されているので、生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるようになっている。章末に「章のまとめ」を設け、「知識・技能の確認問題」「思考・判断・表現の問題」と、観点ごとに問題を配置し、学習の定着状況が確認できるようになっている。各単元の最後に、「学習のまとめ」が設けられており、本時の学習を振り返り、学んだことを通して生徒自ら考え判断し、表現する力を身につけることができるよう工夫されている。
技術	開隆堂出版	学習の動機づけ、基礎・基本の確実な習得、問題解決の実施、学習内容の振り返りや評価・活用を重視した編成となっている。「基礎的な知識と技能の習得」「問題解決力、工夫・創造する能力と態度」「技術を適切に評価し活用する力」の3つの内容に分け、学習の流れをわかりやすくしている。基礎的・基本的な内容の理解を助けるために、材料と加工では「動作のポイント」としてわかりやすく表示されている。
家庭	開隆堂出版	ガイダンスにおいて「家庭科の見方・考え方」及び重要なキーワードについて説明があり、各内容の導入が生徒の関心と実生活から出発し、学びにつなげる構成の工夫がある。問題を解決するための手がかりや、本文内容の理解を助ける科学的な資料が、効果的な表現や分量、大きさで示されている。高齢者の活躍の様子や、介助の仕方、中学生の関わり等、共生社会をテーマに事例を充実させ、共生社会の視点から多岐にわたって学習できる。
外国語	三省堂	各レッスンが、とびら→Get→USE Read→USE Speak/Writeの流れとなっており、まず「とびら」で単元全体の内容に触れることができる。知識・技能を習得する「Get」、「話すこと」「書くこと」の定着を図る「USE」の流れで、4技能をバランス良く学習できる構成になっている。Get plusやTake Actionでは、言語の使用場面や状況がしっかり設定されており、表現力やコミュニケーション力を伸ばすことができる。活用しやすいWord Bankも用意されている。各レッスンのUSE Readは、多様なジャンルのやや長めの文章であり、由布市の課題である「読む力」を育成するのに良いと考えられる。
道徳	日本文教出版	道徳的な問題について“考え・議論する”教材として、「学習の進め方」のページがあり、何が問題か、自分はどうか考えるか、どう議論し、考えを深めるのかについて、具体的な場面と手立てが例示されており、学習を進めやすい。「いじめ問題」に関する教材は充実しており、各ユニットは多様な教材・コラムで構成され、一定期間に集中して学ぶことが可能で、より深く多面的にいじめ問題を考えられるよう工夫されている。